

財政状況等一覧表（17年度）

団体名

岬町

1 一般会計及び特別会計の財政状況（主として普通会計に係るもの）（百万円）

	歳入	歳出	形式収支	実質収支	地方債現在高	他会計からの繰入金	備考
一般会計	6,712	6,688	24	20	11,691	0	基金から611百万円繰入 財産区から25百万円繰入
住宅新築資金等貸付事業特別会計	23	28	5	5	55	0	
淡輪財産区特別会計	15	5	9	9	0	0	基金から1百万円繰入
深日財産区特別会計	47	36	11	11	0	0	基金から16百万円繰入
多奈川財産区特別会計	33	33	0	0	0	0	基金から24百万円繰入
谷川財産区特別会計	17	15	2	2	0	0	財産区から15百万円繰入
普通会計	6,730	6,711	19	15	11,747	0	基金から611百万円繰入 財産区から25百万円繰入

(注) 1. 端数整理の関係で歳入・歳出と形式収支等が一致しないことがある。

2. 各会計の数値は、決算書等に基づき記載している。ただし、普通会計の数値は、地方財政状況調査に基づき記載している。そのため、各会計の数値の合計と普通会計の数値は一致しない。

2 1以外の特別会計の財政状況（公営事業会計に係るもの）

(百万円)

	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	不良債務 (実質収支)	地方債現在高	他会計からの繰入金	備考
水道事業会計	562	637	75		2,906	2	法適用企業
住宅用地造成事業特別会計	(歳入) 0	(歳出) 0	(形式収支) 210	(実質収支) 210	0	0	
下水道事業特別会計	(歳入) 750	(歳出) 750	(形式収支) 0	(実質収支) 0	5,254	318	基金から9百万円繰入
農業集落排水事業特別会計	(歳入) 38	(歳出) 38	(形式収支) 0	(実質収支) 0	16	2	
国民健康保険特別会計	(歳入) 2,543	(歳出) 2,443	(形式収支) 101	(実質収支) 101	0	147	基金から106百万円繰入
老人保健特別会計	(歳入) 2,226	(歳出) 2,233	(形式収支) 7	(実質収支) 7	0	158	
介護保険特別会計	(歳入) 1,472	(歳出) 1,457	(形式収支) 15	(実質収支) 15	64	235	

(注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。

2. 不良債務が～百万円となるときは、「～」と表記している。

3. 端数整理の関係で総収益(歳入)・総費用(歳出)と純損益(形式収支)等が一致しないことがある。

4. 各会計の数値は、決算書等に基づき記載している。ただし、公営企業会計に属する会計の数値は、地方公営企業決算状況調査に基づき記載している。

5. 法適用以外の公営企業会計に属する会計の形式収支については、「(歳入) - (歳出) - (積立金) + (繰越金) - (前年度繰上充用金)」で算出している。

3 関係する一部事務組合等の財政状況

(百万円, %)

	歳入 (総収益)	歳出 (総費用)	形式収支 (純損益)	実質収支 (不良債務)	地方債現在高	当該団体の負担割合	備考
阪南岬消防組合	884	884	0	0	53	33.4	
南大坂河津岸部流域下水道組合	399	402	12	12	0	14.7	

(注) 1. 端数整理の関係で歳入(総収益)・歳出(総費用)と形式収支(純損益)等が一致しないことがある。

2. 各会計の数値は、決算書等に基づき記載している。ただし、公営企業会計に属する一部事務組合等の数値は、地方公営企業決算状況調査に基づき記載している。

3. 「当該団体の負担割合」の欄には、一部事務組合が歳入した構成団体からの負担金等のうち、岬町が負担した割合を記載している。

4 第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(百万円)

	経常損益 (千円)	資本又は 正味財産 (千円)	当該団体か らの出資金 (千円)	当該団体か らの補助金 (千円)	当該団体か らの貸付金 (千円)	当該団体か らの債務保証に 係る債務残高	当該団体か らの損失補償に 係る債務残高	備考

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を記入している。

5 財政指数

財政力指数	0.61	実質収支比率	0.4%
実質公債費比率	14.0%	経常収支比率	96.8%

(注) 実質公債費比率は、平成18年度の起債協議等手続きにおいて用いる平成15年度から平成17年度の3カ年平均である。